



『つめたいこおりどんなかたち?』

細島雅代/写真 伊地知英信/構成・文 岩崎書店

こおりは、水がひえてかたまっただもの。
かたまりかたによって、いろんなかたちにかわります。
きらきらひかる、しもばしら。ながくのびる、とがったつらら。
そらからふる、ちいさなひょう。
こおりをけずれば、おいしいかきごおりに!
たのしくまなべて、きぶんもひんやり。

『てんこうせいはワニだった!』

おのりえん/作・絵 こぐま社

1ねん2くみのてんこうせいは、ほんもののワニ。ワニくんは、にほんごがはなせないし、みんなと同じことができない。そこで、ワニくんがべんきょうできるように、みんなでほうほうをかんがえていった。
プールのじゅぎょうは、1くみとのリレー。一度も1くみにかったことがないけど…。どんなしょうぶになるのかな。

『じんせいはしがみついてなんぼです』

木坂涼/詩 長谷川義史/絵 フレーベル館

この本には、いろいろな動物の心の声がつまっています。
そのつぶやきを読むと、おもわず笑ったりじーんとしたりするでしょう。
動物たちとなかよくなりたくなる楽しい詩の本です。詩はすべてひらがなで書かれていて、1年生でもひとりでかんたんに読めます。

『そらくんのすてきな給食』

竹内早希子/作 木村いこ/絵 文研出版

そらくんが小学校に入学して、今日がはじめての給食。だけど、そらくんには小麦アレルギーがあります。給食が始まる前に、先生が給食のルールを教えてくれて、トレーが3しゅるいの色に分けられていることを知りました。
そらくんが安心して給食を食べられるように、どんな工夫がされているのでしょうか?

『パインさんのごちゃまぜかんばん』

レオナード・ケスラー/作 小宮由/訳 大日本図書

かんばんやのパインさんは、道やお店をあんないする町のかんばんを、ぜんぶ作りなおすことになりました。
できあがったかんばんをとりつける日のあさ、パインさんのメガネが見つかりません。よく見えないまま、まちがいに気がつかずにとりつけたので、町中がたいへんなことになってしまいます。

『ロバのおはなし』

よしだるみ/さく・え 国土社

うしさんはのんびりしていて、うまくんははやくはしれて。でもロバは、毎日のはたらきます。「なんでぼくばかり、こんなふうにはたらかなくちゃいけないんだろう」と、みんなのことをうらやましくおもっていました。
そんなある日、うしさんにあることをきかれたことをきっかけに、ロバくんのまわりの見えかたがかわります。

『ふしぎなフーセンガム』

麻生かづこ/作 くすはら順子/絵 文研出版

じゅんは、外であそぶよりも、家でゆびあみをするのが好き。ある日公園へ行くと、同じクラスのみこがいた。みこは、からだが大きくて力も強くて、まるで男の子みたい。

でも、リスにもらったフーセンガムで女の子になっていっしょにあそびみたら、いつもとはちがって、みこはやさしくて…。じぶんの心に正直になれるおはなし。

『ほんやくすると』

斉藤倫・うきまる/文 くのまり/絵 ブロンズ新社

『このしっぽをふるのはね、ほんやくすると「とってもうれしい！」ってこと。』ほんやくとは、べつの国のことばをじぶんの国のことばに言いかえることです。

犬はことばをはなせませんが、自分のきもちやかんがえを、にんげんにつたえようとしてくれます。ことばがなくても、心でつうじあえることをおしえてくれるえほんです。

『カールはなにをしているの？』

デボラ・フリードマン/作 よしいかずみ/訳 BL 出版

ミズのカールは、まいにち土をほって、かれはをたべては出すことをくりかえしています。のねずみが「どうしてきみは、そんなことしているの？」とたずねました。どうしてなのかわからないカールは、土をほるのをやめて、こたえをさがしにいきました。

小さな生きものの大きなやくわりがわかる絵本です。

『どろぼうジャンボリ』

阿部結/作 ほるぷ出版

どろぼうジャンボリは、町の人がすてた「てがみのたね」をあつめるのが大すき。かきまちがえてしまったり、はずかしくてわたせなかったり…。「てがみのたね」には、かいた人の「はだかんぼうのきもち」がたくさんつまっています。

しかし、町長が「おてがみきんしれい」を出して、町からてがみがきえてしまい…。

◎ 小学生のみなさんと保護者のかたへ ◎

図書室では、勉強に役立つ本はもちろん、遊びや趣味の本など、さまざまな分野の本をそろえています。ぜひご利用ください。

また、図書室ホームページからは、利用登録（貸出券作成の申込み）や本の予約ができます。新着本やイベント情報の確認、自分で読書冊数の目標を立てる「読書マラソン」の設定もできます。

夏休みの間に、図書室のイベントに参加してみませんか？

- ①各室で毎週「おはなし会」を開催！絵本の読み聞かせをしています。
- ②夏休みの間、小学生～高校生を対象とした「読書マラソン大会」も開催予定！
目標冊数に達成した方には、プレゼントがあります。どうぞご参加ください。

右下のQRコードを読みこむか、インターネットで「大網白里市図書室」と検索してみてね！

大網白里市図書室
中部分室
白里分室

大網100-2
柿餅26-1
南今泉1088-1

0475-72-8383 (保健文化センター2階)
0475-73-3337 (中部コミュニティセンター1階)
0475-77-2172 (白里公民館1階)

大網白里市図書室

検索



図書室 HP QRコード

2025.7

大網白里市図書館から みなさんにおすすめ

小学校3・4年生

よんだことある？



『きょうりゅうレントゲンびょういん』

キョン・ヘウオン/文・絵 こまつようこ/訳 真鍋真/監修
パイインターナショナル

ここは、きょうりゅうがつぎつぎとやってくる、不思議な病院。レントゲンをとると、それぞれのきょうりゅうの体のつくりや骨（ほね）が映し出され…。

きょうりゅうたちの体のとくちょうを、楽しく説明！化石を見るのが、さらに楽しくなる科学絵本。

『モジモジばあは、本のおいしゃさん』

仁科幸子/作 文溪堂

はたらきアリのアンティとアントンは、迷い込んだ図書館で、モジモジアリのモジモジばあに会います。

モジモジアリの仕事は、くたびれた本をみつけて元気にさせること。アンティたちには、本のタイトル文字をきれいにする仕事を見せてくれました。さあ、どんな方法できれいにするのでしょうか。

『ライオン』

ウィリアム・ペーン・デュボア/文・絵 まさきりこ/訳 瑞雲舎
むかし、雲の上のきょうでんで、天使たちが動物を考えて地上におくりこんでいました。

ある日、天使のフォアマンが「ライオン」という名を思いつきえがいた絵は、首に羽のはえたカラフルで小さなライオンでした。フォアマンは、うつくしくてかんぺきなライオンをえがくことができるかな？

『おばあちゃんのあかね色』

楠章子/作 あわい/絵 佼成出版社

杏（あん）のおうちに、認知症（にんちしょう）になったおばあちゃんがひっこしてくるようになりました。

おしゃれでやさしい大すきなおばあちゃんでしたが、今のおばあちゃんは少しちがっていて…。杏は、おばあちゃんが「おばあちゃんらしく」いられるように、ちょっとした手つだいをすることにしました。

『海 ビーグル号で海たんけん』

高久至/写真・文 アリス館

「日本中の海を、自分の目で見てみたい」
夢をかなえるため、ぼくは車を手に入れて、寝とまりできるように改ぞうした。車の名前は、ビーグル号。

日本の海はとってもゆたか。いろいろなかんきょうがあり、たくさんの生き物がいる。さあ、ビーグル号といっしょに、日本中の海をたんけんしてみよう！

『ホタルの光をつなぐもの』

福岡伸一/文 五十嵐大介/絵 福音館書店

女の子が小川で、ホタルの幼虫をつかまえた。家でホタルを育てるにはエサになる貝も、藻（も）も、石も、水の流れも、太陽の光も持って帰らなければならない。でも、それだけではなく…。

自然の中にあるつながりと力について、やさしく語りかける。

『煙のように消えるねこ』

リンダ・ニューベリー/作 田中薫子/訳 徳間書店

引っこしてきたサイモンは、となりの家の庭で、庭の草花全てに名前をつける変なおばあさんと、そのまわりにたくさんのおねこが集まっているふしぎな光景を見かける。

しかし、ブルーというねこは、おばあさんの前にあらわれたかと思うと、けむりのように消えてしまった。いったい、ブルーは何者なのだろうか。

『巨石運搬！ 海をこえて大阪城へ』

鎌田歩/作 アリス館

海にうかぶ島の岩山に、人が集まってきます。足場を組み、石を切り出す準備が進みます。切り出された石は、人の力だけで運ばれ、船に乘せられ、海をこえて大阪へ。

今から400年ほど前、大阪城の石がきに使われた巨石の旅を、横に広がるしかけつきの画面でしようかいしている絵本です。

『クジラがしんだら』

江口絵理/文 かわさきしゅんいち/絵 藤原義弘/監修 童心社

ふかくらい海の中、おちてきたのはマッコウクジラ。くじらがしんだら何になる？

クジラは海のいきものたちのごちそうになる。クジラの命がおわっても、その体をたべるいきものたちがべつの命をつないでいく。

クジラの命のおわりから、新たなものがたりがはじまる。

『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』

キース・ネグレー/作 石井睦美/訳 光村教育図書

「男の子の ふくを きているんじゃないわ」

「わたしは わたしの ふくを きているのよ！」

今ではだれでも好きな服を着られる。だけど昔々、女の子が着られるのはきゆうくつなドレスだけで、ズボンをはいたらおかしいって言われてた。しんじられる？

そんな時代に、はじめてズボンをはいた女の子のお話。

◎ 小学生のみなさんと保護者のかたへ ◎

図書室では、勉強に役立つ本はもちろん、遊びや趣味の本など、さまざまな分野の本をそろえています。ぜひご利用ください。

また、図書室ホームページからは、利用登録（貸出券作成の申込み）や本の予約ができます。新着本やイベント情報の確認、自分で読書冊数の目標を立てる「読書マラソン」の設定もできます。

夏休みの間に、図書室のイベントに参加してみませんか？

夏休みの間、小学生～高校生を対象とした「読書マラソン大会」も開催予定！

- ・ 参加には、図書室貸出券とパスワード登録が必要です。
- ・ 目標冊数に達成した方には、プレゼントがあります。どうぞご参加ください。

右下のQRコードを読みこむか、インターネットで「大網白里市図書室」と検索してみてね！

大網白里市図書室
中部分室
白里分室

大網100-2
柿餅26-1
南今泉1088-1

0475-72-8383 (保健文化センター2階)
0475-73-3337 (中部コミュニティセンター1階)
0475-77-2172 (白里公民館1階)

大網白里市図書室

検索



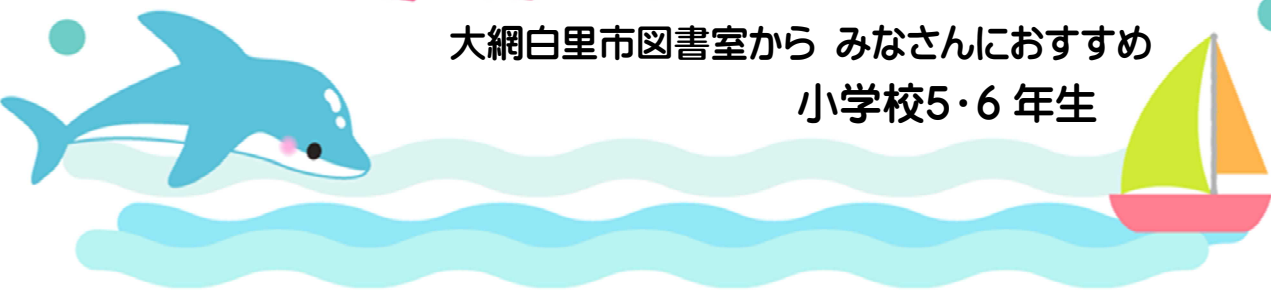
図書室 HP QRコード

2025.7



よんだことある？

大網白里市図書室から みなさんにおすすめ
小学校5・6年生



『いまにヘレンがくる』

メアリー・ダウニング・ハーン/作 もりうちすみこ/訳 偕成社

母の再婚で、新たな父と妹ヘザーと共に田舎に引っ越してきたモリーとマイケル姉弟。

しかし、妹ヘザーは全く姉弟になつかず、気に入らないことがあると「いまにヘレンがくるから!」と言う。妹が墓地の幽霊ヘレンにとりつかれているのを知ったモリーは、数々の恐怖の中、必死にヘザーを救おうとする。

『木から家ができるまで 和室はすごい』

モリナガ・ヨウ/作 道江紳一/監修 ほるぷ出版

和室は日本の伝統的な文化のひとつ。

畳(たたみ)や障子(しょうじ)などには自然の材料を使って、長い間に伝わってきた職人の技がこめられています。

木を切りだすところから和室ができあがるまでの様子が、絵本でわかりやすく描かれています。

『知れば楽しいクモの世界』

馬場友希/著 少年写真新聞社

見た目から多くの人が苦手と感じるクモですが、実はほかの昆虫を食べることで自然界のバランスを保つなど、人や環境にとって大事な役割を果たしています。

体から出す糸を自由自在に使って芸術的な網をついたり、空を飛ぶなど、クモの知られざる生態や、ユニークな行動・暮らしぶりをわかりやすく解説します。

『ぼくへのレファレンス』

岩崎まさえ/作 黒須高嶺/絵 国土社

体験学習で市民図書館に来了リョウ。貴重書庫で江戸時代の古文書を見せてもらった後、ボロボロの着物を着た男の子から、調べもの(レファレンス)を頼まれる。

そして夏休み、リョウとクラスメートのミサキは、図書館で知り合った郷土史研究家のおじいさんの運転で、答えを求めて現地調査に向かう。

『さあ、めがねをかけよう!』

ヘレナ・ハラシュトヴァ/作 アナ・コーベン/絵 越智典子/訳 偕成社

遠くが見えない近視(きんし)のジョーと近くが見えない遠視(えんし)のキティ。ものを見るしくみはとても複雑。だから見えない理由もさまざま。

でも、めがねをかけるとくっきりはっきり、細かいところまでよく見える。目とめがねについてくわしく書いてあるこの本を読んで、きみも自分の気に入っためがねをかけよう!

『四角い空のむこうへ』

由美村嬉々/文 羽尻利門/絵 晶文社

あきは、生まれつきの筋肉の病気で、人工呼吸器と車いすの生活を送っている。テレビの天気予報を見るのが好きなあきは、「気象予報士」にあこがれを抱いていた。

それを知った父親は、ある日、彼が寝ている居間の天井に、天窓をつくる。そこから見える空の表情をながめながら、気象予報士になる夢をふくらませていくのだった…。

『イグアノドンのツノはなぜきえた?』

ショーン・ルービン/文・絵 千葉茂樹/訳 岩崎書店

200年前、見たこともない大きな歯の化石が見つかった。「イグアナの歯」という意味のイグアノドンと名付けられ、クジラのような巨大なイグアナと考えられていた。

研究者たちが想像力をはたらかせ、新しい化石が発見されるたびイグアノドンのすがたは変わっていった。

昔の研究者たちが考えた恐竜のすがたを見てみよう!

『ねがいの木』

岡田淳/文 植田真/絵 BL 出版

夏休みにおばあさんの家にやってきた私。一本の木を描くため雨が止むのを待っていると、おばあさんがねがいをかなえる「ねがいの木」のお話をしてくれた。

木は、ある時はきつねの願いをかなえ、ある時は若者の願いをかなえ、少女の想いも叶えた。

でも、本当のお話はもっと素敵。

『変身 消えた少女と昆虫標本』

佐藤いつ子/作 かない/絵 文研出版

夏休みの終わり、萌子が失踪した。彼女の父親が持ってきたのは、正体がわからない虫の標本。萌子が訪れていた神社には、昔、姿を変えられた人がいるという噂があった。

一方、萌子を心配する友人のりおんは、家族との関係に悩み、自分のどうにもならない感情に困惑していた。

「知らなかった自分」に出会うひと夏の物語。

『きさらぎさんちは今日もお天気』

古都こいと/作 酒井以/絵 Gakken

青葉(あおば)の父は、ツボをおしたり鍼(はり)を打ったり、お灸(きゅう)をすえたりする鍼灸師(しんきゅうし)。においがつくからと、青葉のいる場所ではお灸禁止!と言っているのに、父は今日も朝からお灸をされていて…。

弟にたのまれた UFO さがしやネコさがし、そして、父に教えられたツボおしを通じてつながる家族の物語。

◎ 小学生のみなさんと保護者のかたへ ◎

図書室では、勉強に役立つ本はもちろん、遊びや趣味の本など、さまざまな分野の本をそろえています。ぜひご利用ください。

また、図書室ホームページからは、利用登録(貸出券作成の申込み)や本の予約ができます。新着本やイベント情報の確認、自分で読書冊数の目標を立てる「読書マラソン」の設定もできます。

夏休みの間に、図書室のイベントに参加してみませんか?

夏休みの間、小学生～高校生を対象とした「読書マラソン大会」も開催予定!

- ・ 参加には、図書室貸出券とパスワード登録が必要です。
- ・ 目標冊数に達成した方には、プレゼントがあります。どうぞご参加ください。

右下のQRコードを読みこむか、インターネットで「大網白里市図書室」と検索してみてね!

大網白里市図書室
中部分室
白里分室

大網100-2
柿餅26-1
南今泉1088-1

0475-72-8383(保健文化センター2階)
0475-73-3337(中部コミュニティセンター1階)
0475-77-2172(白里公民館1階)

大網白里市図書室

検索



図書室 HP QRコード

2025.7

大網白里市図書室から みなさんにおすすめ

よんだことある？

中学生



『しじんのゆうびんやさん』

斉藤倫/作 牡丹靖佳/画 偕成社

ちいさな街のゆうびんやは、窓口のガイトーと配達のリノスのふたりだけ。ガイトーは、「てがみをもらったことがない」と言うとうだいもりにてがみを書き、リノスにたくします。それは、読む人の心にひびく魔法のような詩が書かれているてがみでした。

詩人からのゆうびんを、あなたも読んでみませんか。

『22 世紀からきたでっかいタイ』

木下政人/著 Gakken

生き物の設計図に手を加える、ゲノム編集という技術で「22世紀タイ」という大きなタイが生みだされた。興味をひかれた魚屋のおすすめ海野さんは、研究に関わった大学の先生をたずね、「生き物のしくみ」と「食」について学ぶ。

登場人物による会話形式で進行し、難しいテーマを分かりやすくしようかしている。

『なんで人は青を作ったの？』

谷口陽子・高橋香里/著 クレメンス・メツラー/画 新泉社

自然にほとんど存在しない青色を、人類はどうやって手にしたのか？

上野にある科学倶楽部に所属する中学1年の蒼太郎と律は、化学者の森井老人の指導のもと、青色をつくる実験に挑戦する。

『ハルカの世界』

小森香折/作 さとうゆうすけ/絵 BL 出版

中学1年生の遙は、夢に見た絵の世界に入る体験をする。そこは、4人の魔女が守る楽園の王国アウレリアだった。遙は出会ったユニコーンから、自分がとある魔女の嫉妬によって追放された魔女のひとりだと知らされる。

王国は、予言による災いの年を迎えていた。二つの「現実の世界」に揺れる少女を描いたファンタジー。

『15歳の昆虫図鑑』

五十嵐美怜/著 講談社

友達の意見に合わせてばかりで、本音を言えない真優。頭が良いが虫好きで、周囲から浮いている転校生の吉岡瑠子。そんな二人が「ホタルのボランティア活動」をきっかけに出会った事で、それぞれ別の悩みを抱えたクラスメイトの健都・航平・咲ともつながり、「新しい自分」を発見していく。中学3年生5人の、夏の青春物語。

『ものすごい研究図鑑』

Gakken

「余った白菜で環境にやさしいコンクリートを爆誕させた」「第二の地球を求めて生命を宿す惑星の条件を探る」など、様々な研究に取り組んでいる12名の先生を紹介。

研究に興味をもったきっかけや職場の様子を、分かりやすく知ることができます。キミの「もっと知りたい!」と思える研究が見つかるかも。

『円周率の謎を追う』

鳴海風/作 伊野孝行/画 くもん出版

現代ではあたりまえの円周率が、まだ使われていなかった江戸時代。円に魅せられ、その謎を解こうとした数学者・関孝和。

日本独自の数学である和算を、世界に通じるレベルまで高めた天才数学者の生涯を、かれを支えた人々とのつながりの中で描く。

『ピーティ』

ベン・マイケルセン/作 千葉茂樹/訳 鈴木出版

重度の身体障害があり、寝たきりで奇妙な外見、言葉も不自由な老人、ピーティ。思考能力もないと誤解され「尊厳死させた方が本人のため」とまで言われたが、彼は周囲が想像するよりも、ずっと豊かな世界を生きていた。

喜びと驚きに満ち、出会いに恵まれ、過酷だけれど幸せに締めくくられた、ある人生の物語。

『正しく疑う』

池上彰/監修 Gakken

悪ふざけ投稿、誹謗中傷、炎上…。いまや誰もが発信者、自分が加害者になることもあります。フェイクニュースやデマも多く、情報の受け取り方にもコツが必要です。

情報をうのみにするのではなく、さまざまな可能性を考え、あなた自身の「正しさ」を探し続けてほしい…。もちろん、間違えることもあるけど、その経験が力となる。

『ぶたのしっぽ』

海緒裕/作 嶽まいこ/絵 講談社

中学2年の豪太郎は、野球部のピッチャー。趣味は編みぐるみ。そして、身体にも人には言えない悩みがあります。花奈、歩陸、篠田など、友達はみんなそれぞれにづらい問題をかかえ、毎日を必死に生きています。

自分が受け入れてもらえる社会を模索しながら、がんばる中学生たちの物語です。

◎ 中学生のみなさんと保護者のかたへ ◎

図書室では、勉強に役立つ本はもちろん、遊びや趣味の本など、さまざまな分野の本をそろえています。ぜひご利用ください。

また、図書室ホームページからは、利用登録（貸出券作成の申込み）や本の予約ができます。新着本やイベント情報の確認、自分で読書冊数の目標を立てる「読書マラソン」の設定もできます。

夏休みの間に、図書室のイベントに参加してみませんか？

夏休みの間、小学生～高校生を対象とした「読書マラソン大会」も開催予定！

- ・ 参加には、図書室貸出券とパスワード登録が必要です。
- ・ 目標冊数に達成した方には、プレゼントがあります。どうぞご参加ください。

右下のQRコードを読みこむか、インターネットで「大網白里市図書室」と検索してみてくださいね！

大網白里市図書室
中部分室
白里分室

大網100-2
柿餅26-1
南今泉1088-1

0475-72-8383 (保健文化センター2階)
0475-73-3337 (中部コミュニティセンター1階)
0475-77-2172 (白里公民館1階)

大網白里市図書室

検索



図書室 HP QRコード

2025.7